

多摩南部地域病院職員の新型コロナウイルス感染について

この度、公益財団法人東京都保健医療公社多摩南部地域病院（以下「病院」という。）に勤務する職員3名の新型コロナウイルスの感染が確認されましたので、御報告いたします。

なお、今回の感染確認による診療体制への影響はありません。

1 感染確認の状況

- ・2月9日（火曜日）に職員1名（職員1）が発熱したため、PCR検査を実施したところ、同日に「陽性」と判明した。
- ・このため、所管保健所の助言を踏まえ、職員1の接触者を調査したところ、濃厚接触者に該当すると判断された者はいないが、接触があった者は職員30名である。
- ・念のため、職員30名についてPCR検査を実施したところ、職員2名（職員2及び職員3）の「陽性」が判明。他の28名については、「陰性」を確認した。
- ・所管保健所の助言を踏まえ、検査日の2日前である2月7日以降の職員2及び職員3との接触者を調査したところ、接触のあった者は職員2名であり、いずれも濃厚接触者に該当すると判断された。
- ・濃厚接触者である職員2名に対して、PCR検査を実施したところ、「陰性」と判明した。

2 陽性が判明した職員の概要

別紙のとおり

《問合せ先》

公益財団法人東京都保健医療公社多摩南部地域病院

庶務課 川崎、長瀬 電話 042-338-2226（直通）

公益財団法人東京都保健医療公社事務局

総務課 小俣、内海 電話 03-5577-2133（直通）

事業推進課 沼口、永竹 電話 03-5577-2135（直通）

【裏面に続く】

3 病院の対応等

- ・陽性が判明した職員3名は、所管保健所の指導に基づき、現在、自宅療養中である。
- ・陽性が判明した職員3名は、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病棟で勤務していた。
- ・勤務中は常時マスクを着用し、手指衛生を行うなどの標準予防策を実施していた。また、新型コロナウイルス感染症患者と接する際にはガウン等の個人防護具を適切に着用し、定められた手順を遵守していた。
- ・陰性が確認された職員30名（職員1の接触者28名、職員2及び職員3の接触者2名）のうち、濃厚接触者2名と他の6名は自宅待機とし、残りの22名については引き続き健康観察を継続する。今後、必要に応じてPCR検査を実施するなど適切に対応していく。
- ・当該病棟及び職員休憩室等は、日々消毒を実施している。
- ・感染経路は現在のところ不明であり、今後、所管保健所の調査に協力していく。
- ・引き続き、職員の手指衛生やマスク着用などの標準予防策の徹底及び感染管理担当（ICT）による巡回点検を実施する。

4 今後の診療について

今回陽性が判明した職員3名は、陽性判明後は病院に勤務していないこと、接触のあった職員に症状を訴える者はいないこと、病院では手指衛生やマスクの着用などの標準的な院内感染対策を適切に行っていることから、所管の保健所の指導・助言を踏まえ、外来・入院とも診療を継続する。

○ 陽性が判明した職員の概要

	職員 1	職員 2	職員 3
所 属	コロナ病棟	コロナ病棟	コロナ病棟
年 代	20代	20代	20代
性 別	女性	女性	女性
職 種	看護師	看護師	看護師
居住地	都内	都内	都内
現在の症状等	発熱、咳 自宅療養中	症状なし 自宅療養中	症状なし 自宅療養中
陽性判明日	2月9日	2月9日	2月9日